

1. 研究課題名： 循環型社会形成に関わる新たな評価指標と指標体系

2. 研究代表者氏名及び所属：橋本征二（立命館大学）



3. 研究実施期間：平成 28～30 年度

4. 研究の趣旨・概要

本研究では、現在の循環型社会形成推進基本計画が抱える課題を 5 つに整理し、今後の基本計画への反映や国際的な発信を行うことを視野に、これらの課題に対応した以下の検討を行う。すなわち、①既存の指標群と本研究で新たに開発する指標をいくつかの視点から整理・体系化するとともに、②ストック指標としての物質寿命を計測する手法、③産業部門別に資源生産性を計測する指標、④低炭素と資源循環のシナジーやトレードオフを計測する統合指標、等を新たに開発ないしは再検討し、⑤関与物質総量により国際的な資源の依存状況やリサイクルの効果を明確にする。今後の基本計画策定において、こうした研究成果の活用が期待される。

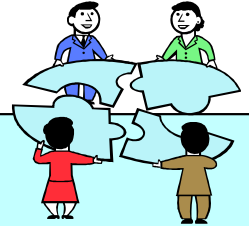
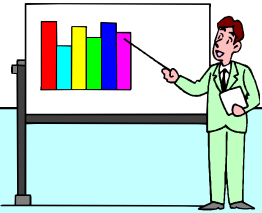
5. 研究項目及び実施体制

- ①既存の指標体系の再構築（立命館大学）
- ②ストック指標としての物質寿命の計測（国立環境研究所）
- ③産業部門別の資源生産性指標（東京大学）
- ④低炭素と資源循環の統合指標（国立環境研究所）
- ⑤TMR 指標の新展開（立命館大学・日本貿易振興機構・東京大学）

【3K163001】

循環型社会形成に関わる新たな評価指標と指標体系

第4次循環基本計画への貢献や国際的な発信



①既存の指標体系の再構築

既存の指標群と本研究で新たに開発する指標をいくつかの視点から整理・体系化

②ストック指標としての物質寿命の計測

計測手法開発とケーススタディ

③産業部門別の資源生産性指標

ボトムアップ型の指標提案とケーススタディ

④低炭素と資源循環の統合指標

統合指標提案とケーススタディ

⑤TMR指標の新展開

データベースの構築と資源循環の評価



個別指標開発

既存の指標群(自治体や企業を含む)